

令和7年度 施政方針

閩 秘書課 ☎ (25) 8415

令和7年6月2日開会の高島市議会6月定例会で、今城市長が示した令和7年度の補正予算にかかる施政方針を7つのビジョンごとにお知らせします。

1 仕事を する人、 暮らす人 に ぎわうまちづくり

高島市では、良好な環境や豊かな地域資源を生かして、仕事をする人や暮らす人を呼び込む取り組みを進める必要があると考えています。

▼**宿泊型インターンシップ**
今議会に提案した予算では、

専門学校と市内民間企業で構成される団体が連携して宿泊型のインターンシップを実施するなど、関係人口を増やす取り組みを進めていきます。

▼**副業人材活用支援**
また、副業人材活用支援事業も提案しています。

近年、働き方の多様化が進む中で、環境に恵まれた地方で副業をすることを希望される方が増えています。このような状況

の中で、地域の特性を生かした副業の機会を提供するため、情報提供を行っていきます。
あわせて地域内での人材交流や新たなビジネスチャンスの創出を図ります。

2 経済効果を 高める 観光まちづくり

観光は地域経済の基盤を支える重要な要素です。また、高島市は独特の魅力があふれており、観光によるまちづくりを進めるには大変適していると考えています。

このため、観光資源の発掘や新たな観光プログラムの実施を通じて、地域の魅力を最大限に引き出し、経済効果を高めることが求められています。

▼**観光戦略**
今年度は、観光シンポジウムを開催し、地域の観光資源や魅力を再認識し、今後の観光戦略について議論を深めます。また、既存の観光施設については、必要な改修を計画的に進めていきます。これによって、訪れる観光客に対してより良い体験を提供し、リピーターの獲得にもつなげていきます。

▼**誘客促進プロモーション**
誘客促進プロモーション事業として、SNSやウェブサイトを活用するなどによって、京阪神や中部地域への情報発信を強化し、観光客の誘致を促進します。

外国人観光客の獲得に向けては、今年度は台湾でのセールスコールを通じて高島市の魅力をアピールし、台湾の方々に積極的にアプローチします。また、外国人観光客が安心して訪れることができる受け入れ態勢が重要なことから、多言語対応の案内やサービスの充実も図っていきます。

たかしま観光ビジョンを実現

3 活力ある強い産業を 育むまちづくり

農業については、高島市の農産物のブランド力を向上するなど付加価値を高めることが重要です。

このため、有機農業の推進に向けて、先進地視察などを通じて他地域の成功事例を学び、高島市における有機農業の普及を図ります。これによって、付加価値を高めるだけでなく、環境保全にも寄与する農業の実現を目指します。また、ブドウやイチジクを対象とした補助制度を設けることで、果樹生産の支援を拡大するとともに、農業者向けの研修会を定期的に開催し、最新の栽培技術やマーケティング手法を学ぶ機会を提供することによって、農業者の所得向上につなげていきます。

▼**就農フェア**
高島市の豊かな農地を生かすためには、新規就農者の確保が大変重要です。このため、就農フェアに参加するなど、若い世代の農業参入を促進します。

▼**二ホンザル対策**
農地の管理において、特に二ホンザルによる被害は極めて深刻な状況です。このため、二ホンザルの個体数調整を進めていく必要があります。今議会では、新たに今津B群について個体数や行動域の調査を行う予算を提案し、次年度以降の個体数調整の実施につなげていきます。

▼**森林活用**
市内の陸域面積の約72%を占める森林については、多面的な機能を発揮させながら、多様な活用を進めて、森にぎわいや仕事を生み出すことが重要です。
このため、森林セラピーの推進、市内産木材の活用への支援、森林境界の明確化、自伐型林



令和6年度 たかしま観光シンポジウム

業の推進、拠点施設の修繕などに取り組みます。

▼発酵のまち・たかしま

新たに「発酵のまち・たかしま」というブランドイメージを発信し、発酵食の活用を進めます。このことによって、高島市独特の魅力を分かりやすく発信するとともに、市内産業の付加価値を高めたり、健康づくりにつなげたりするなどによって、高島市に人や仕事を呼び込みます。

今年度は、発酵食品を使用し



(上) 鮎寿司、(下) 日本酒

た料理を提供す

る飲食店を活用し、発酵に関する体験イベントを開催するなどのガストロノミーツーリズムを進めます。また、学生等と連携しながら、市内発酵食文化のヒアリングを実施し、ポータルサイトやマップを作成します。

今後、地域の農産物や水産物と組み合わせた新たなメニューの開発も進めていきます。

4 恵まれた子育て、教育環境で未来を担う人づくり

働く保護者が安心して子どもを預けられる環境を整える必要があります。

このため、新設する学童保育所の運営に補助を行うことなどによって、地域のニーズに応じた質の高い保育サービスを提供していきます。

▼保育士の確保

保育士の確保は重要な課題となっています。

このため、保育士の就労や確

保に関するさまざまな取り組みへの補助を行うことで、より多くの人材が保育現場で活躍できるよう支援していきます。

▼こども計画の策定

今年度は、こども・若者の施策を包括的に捉えた「こども計画」の策定を進めます。

今後は、高島市の良好な環境を生かした保育や教育の内容を積極的に取り入れるなど、市外から見ても魅力を感じられるような環境の実現に努力していきます。

5 人と人がつながり、健康で生涯活躍できるまちづくり

高齢化などに伴って、市民の方々が市内を移動する交通手段の確保が大きな課題となっています。

▼地域交通システムの構築

公共交通を含めた新たな地域交通のシステムを構築しなければならぬと考えています。

具体的には、利用しやすい交

させるために欠かせない取り組みです。

このため、介護職員の確保のために補助金制度を活用した支援策を引き続き実施します。

具体的には、介護事業所が新たに介護職員を雇用する際、一定の要件を満たす場合に、助成金を交付します。この助成金を職員の手当や研修費用に充てることで、事業所の経済的負担を軽減することになり、より多くの人材を採用するインセンティブとなります。また、介護職員の定着を図るために、フレックスタイム制度の導入、育児休暇や介護休暇の取得促進など、多様な働き方を支援する施策を講じます。さらに、介護職員向けの専門的な研修や資格取得支援を行うことで、職員の専門性の向上や、キャリアアップの機会の提供につなげます。

今後、高校や専門学校との連携を強化し、新たな人材の流入を促進していきます。

6 さまざまな災害に備える防災システムづくり

インフラ整備については、地域の皆さまの協力を得ながら、集落内道路の必要な箇所の整備を進め、通行の安全性を高めます。また、市道の維持管理についても、定期的な点検や補修作業を行い、災害時にも迅速な対応が可能となるよう努めていきます。

河川改修については、オオカミ川を含む河川の安全性向上を図るため、流域の特性を考慮した改修工事を進めていきます。これによって、洪水や土砂災害などのリスクを軽減し、市民が安心して生活できる環境を整えていきます。

7 高島らしい環境、文化、歴史に恵まれたまちづくり

琵琶湖岸に広がる松並木の保全を入れていきます。湖岸の松並木は地域の景観形

結びに

現在、行政の各般において、多くの課題が山積しており、これらを解決するためには、関係部局が共通の認識を持ち、連携して取り組むことが不可欠です。



湖岸の松並木

成に寄与するだけでなく、観光資源としても重要です。

しかし、現在、松枯れが急速に進行していることから、枯損木の伐採と適切な処理を行うとともに、健全木については、予防策として樹幹注入を実施します。

これらの実施によって、琵琶湖岸の松並木を保全する取り組みを進めます。

通手段の導入、公共交通機関の運行ルートや時刻表の見直しなど、多角的な視点から地域交通の充実を図っていきます。また、デジタル技術を活用したり、オンデマンド型の交通サービスを導入したりするなどによって、住民の方々がより便利に移動できる環境を整備していきます。



このため、今年度は、市内の地域交通の現状把握や調査を行います。また、市内各所での交通利用状況や住民のニーズを把握するため、アンケート調査やヒアリングを実施します。

次年度以降は、それらの結果をもとに、新たな地域交通のシステムを検討していきます。

▼介護職員の確保

高齢化社会が進展する中で、介護人材の確保対策は地域の福祉サービスの質を維持し、向上

特に、財政状況が大変厳しくなっていますので、費用対効果の向上や業務の効率化などの行財政改革を一層進めていきます。このため、これまで実施してきた事業や公共施設の維持管理などについても、今後見直しが避けられなくなることが予想されます。何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。

一方、高島市には、美しい水や緑、景観、そしてこれらに育まれた豊かな文化や歴史など、人を惹き付ける独特の魅力があります。

課題への対応や行財政改革とあわせて、このような高島市の魅力を生かしたまちづくりを市民の皆さまとともに進めていきます。また、市政全般にわたって情報公開を進めるとともに、市民の皆さまのお気持ちに寄り添った行政運営を心がけてまいります。

